



つばき工房連絡帳

令和7年1月号

上越市高土町 3-4-12

276号

TEL 025-523-5472

令和7年、新年あけましておめでとうございます。昨年、新型コロナウイルスが下火になったことで、9月に開催した『ありがとうブランド感謝祭』の規模を拡大し、たくさんの人から来ていただきました。

今年、巳年。蛇は脱皮をくり返して成長していくことから、『再生と繁栄』を象徴し、それが金運や富の増大に結び付くとされています。今、つばき工房の利用者は年々減少しています。理由は、毎年就職者を送り出してきたこと、高齢化による障がいの重度化などで高齢者施設への移行が増えてきたためです。これまで2人が新たに加わり、4月からは、特別支援学校の2人が利用する見込みです。利用者第一の支援サービスを充実させ、選んでもらえるつばき工房の一年にしていきます。

所長 小林俊一

プリンアラモードでクリスマス気分(部活動)

12月18日(水)の調理部は、プリンアラモード作り。利用者11人が参加し、市販のプリンに、生クリームやポッキー、チェリーなどを盛り付けました。「かわいくできた。」「レストランで出てきそう。」「クリスマスが来たみたい。」など、笑顔と歓声が溢れました。



どれをのせようかな～



大好きな生クリームは多めに



華やかですよ！

にちじょう ひそ きけんたいさく
日常に潜む危険対策

11月27日(水)、工房で、不審者侵入に対する訓練を実施。不審者役が玄関に入ってくると、職員は、利用者に作業室から出ないように声掛け。別の職員は、警察に模擬通報、防犯ブザーを鳴らし、さすまたを繰り出しました。



ひざうらをおすとあいてはたおれます

訓練後、防犯のDVDを視聴。「なるべく一人で行動

しないようにする。」「防犯ブザーを身に付けようと思う。」と、色々な感想。利用者の防犯意識が高まりました。最後に、スマートフォンやSNSの使用上の注意点を、職員が説明して終了しました。

12月4日(水)は、上越市市民安全課職員5人を講師に招き、交通安全教室。工房周辺を歩き、横断歩道の渡り方や危険な場所を確認しました。



どうろをわたるときは必ず左右確認！

「横断歩道を渡ろうと手を上げたが、車は止まってくれなかった。危ないと思った。」「暗くなったら、反射するものをカバンにつけなきゃ。」と、「身を守る意識が強くなった。」との利用者の感想。寒いと両手をポケットに入れて歩く人がいますが、とても危ないです。路面が凍結して、転倒したとき、体を支えられず、顔や頭を強打します。ポケットに手を入れて歩かないようにしましょう。

なかま ふ
あたらしい仲間が増えました

11月に1人、12月に1人、34人になりました。その他に体験利用の人が1人増えて、ますます、活気あふれる工房になっています。

がつ
1月

ねんまつねんしきゅうか
12/31～1/3 年末年始休暇

4日(土) 土曜開所
 6日(月) 体重測定
 8日(水) 全体会
 15日(水) 工賃支払日

17日(金) 書道部
 18日(土) 土曜開所
 22日(水) 就労・生活プログラム
 28日(火) 環境整備